

北総鉄道株式会社千葉ニュータウン鉄道株式会社

安全報告書2023



安全報告書 2023 目次

) 1. ご利用の皆様へ	1_(
)2. 北総鉄道路線図・成田スカイアクセス分界	2
・北総鉄道路線図・成田スカイアクセス分界	
3. 安全に対する基本方針・安全重点施策	3
・輸送の安全を確保するための基本的な方針 ・2022年度 安全方針・安全重点施策	
) 4. 安全管理体制と安全管理方法	5
・安全管理体制・安全管理方法	
)5. 列車の安定輸送を実現するための取り組み	8
・列車の運行管理・車両、施設の保守点検	
)6. テロ・防犯対策の取り組み	10
・テロ等防犯対策・警察との連携	
7. 安全確保に対する取り組み	12
 ・安全確保のための措置 ・駅の安全対策設備 ・車両の安全対策設備 ・災害対策 ・災害発生時の取り組み ・安全に関する教育 ・乗務員の健康状態の確認 ・事故等の発生状況 	
)8. ご利用のお客様へのお願い	26
・電車を安全にご利用いただくために	

- (※) 報告書の記載内容のうち特に会社名が明記されてない事項については、北総鉄道と千葉ニュータウン鉄道が一体となり取り組んできた内容となっています。
- (※) 表紙:「北総線思い出フォトコンテスト」【優秀賞受賞作品】 撮影者 奥原 将一郎 作品名「晴れた夏の朝の北総線」 撮影月日 2022 年7月2日

1. ご利用の皆様へ



第1種及び第2種鉄道事業者 北総鉄道株式会社 取締役社長 **室谷 正裕**

平素より北総鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。 また、当社鉄道事業にご理解とご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。 当社は、鉄道事業における最大の使命である「絶対安全」を根幹とし、 公共交通機関として安定した輸送サービスをお客様にご提供できるよう、 全社員一丸となり取り組んでおります。

2022年度の安全に関する施策につきましては、デジタル列車無線の 運用を開始したほか、前年度に引き続き、レール交換や変電設備等の更新、 全線C-ATS化(自動列車停止装置の機能向上)に向けた工事を推進し てまいりました。また、2021年に発生しました、長雨の影響による 鉄道敷地外の法面崩壊箇所についても、災害復旧工事が完了し、設備や 施設面における安全対策の更なる充実を図りました。

幸いにも昨年度は、自然災害等による当社沿線への被害等はありませんでしたが、全国的には多くの被害が発生しており、今後も更に頻発化、激甚化することが予想される自然災害に対する備えやリスク低減のための取り組みに尽力してまいります。また、鉄道施設を対象としたテロ事件等に対して、関係機関と更なる連携強化を図るとともに、実践的な教育・訓練などの実施により、異常時における職員の対応力を強化し、お客様の安全確保に努めてまいります。

2022 年 5 月、当社は創立 5 0 周年を迎えることができました。これは、日頃より当社線をご利用のお客様をはじめ、沿線自治体や関係機関の皆様のご支援によるものと感謝しております。

これからも、お客様から信頼される鉄道を目指し、また、沿線地域の皆様に貢献できるよう、京成電鉄及び 千葉ニュータウン鉄道と連携し、全力で取り組んでまいります。

本安全報告書は、当社における安全への取り組みについて、皆様に広くご紹介しご理解いただくために公表するものです。

当社における安全の更なる向上のために、ぜひご一読いただき、ご意見やご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



第3種鉄道事業者 千葉ニュータウン鉄道株式会社 取締役計長 田中 乗夫

平素より千葉ニュータウン鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうご ざいます。

当社は、北総線の小室駅~印旛日本医大駅間 12.5 つの鉄道施設と、40 両の車両を保有する第3種鉄道事業者であり、それらの設備を第2種鉄道事業者に賃貸しております。

当社は京成グループの一員として、グループ経営理念である「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを安全・快適に提供する」ことを目標とし、グループ行動指針に掲げる「安全・安心を第一に行動する」ことを実践しております。

今後も、北総鉄道と連携し、輸送サービスの向上ならびに千葉ニュータウン のさらなる発展に貢献できるよう、輸送の安全確保に取り組んでまいります。

2. 北総鉄道路線図・成田スカイアクセス分界

北総鉄道路線図



成田スカイアクセス分界

方 万 上 里 馬	文 5 二 语 子 4	戈 高	to the state of th	編 日 本 医 大	日 界 3 3	龙田 空巷 沢
iēj	12.7km	19.8km	12.5km	10.7km	8.4km	
第1種鉄道事業者 (運送+財産)	京成電鉄	北総鉄道				
第2種鉄道事業者			北総鉄道			
(運送)		京成電鉄(成田スカイアクセス)				
第3種鉄道事業者 (財産)			千葉ニュー タウン鉄道	成田高速鉄道 アクセス	成田空港高速鉄道	
運行管理業務	京成電鉄	北総鉄道		京成電鉄		
保守業務	京成電鉄	北総鉄道		京成電鉄		

3. 安全に対する基本方針・安全重点施策

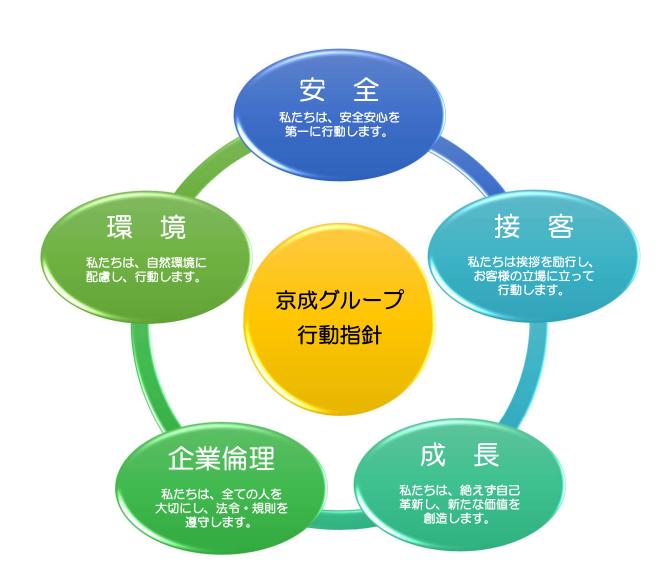
輸送の安全を確保するための基本的な方針

お客様に安全、快適に当社線をご利用いただけるよう、私たちは「京成グループ経営理念」と「京成グループ行動指針」に基づき、安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設、車両及び社員を総合的に活用して輸送の安全を確保します。

京成グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

京成グループ行動指針



2022年度 安全方針・安全重点施策

輸送の安全の確保を図るために、社長自らが関係法令等の遵守、安全最優先の原則を社員に徹底するよう求めるべく安全方針を策定しております。また、安全方針に従い、重要で優先的に取り組むべき具体的な課題を安全重点施策として策定し、各部門においては安全重点施策に基づいた取り組み計画を作成し、輸送の安全の確保に向け尽力しております。安全方針・安全重点施策については毎年度見直しを行い、必要に応じ変更しております。

安全方針

安全第一の意識を持って事業活動を行える体制の整備に努めます。

- 1. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正・忠実に職務を遂行します。
- 2. 事故・災害等が発生したときは、速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- 3. 常に向上心を持ち、必要な工夫・改善に努め、安全かつ快適な環境を提供します。

安全重点施策

(1)北総線及び成田スカイアクセスの安全・安定輸送の継続

(2)安全管理体制の更なる強化

- 事故やヒューマンエラー撲滅への取組み強化
- ・安全に関する内部監査の充実
- ・協力会社と一体となった安全管理の強化
- 社員相互間のコミュニケーションの強化

(3)駅ホーム安全対策の着実な推進(声かけサポート運動等)

• 列車等の駅ホーム進入出時の監視の徹底

(4)鉄道施設の安全性向上及び老朽化対策の推進

- 列車無線デジタル化・C-ATS化等工事の推進
- 激甚化する自然災害への対応
- 老朽化施設の計画的な補修 更新

(5)鉄道テロ行為及び列車妨害行為への対応強化

- ・ホーム、列車内等の鉄道施設の巡回等による監視の強化
- 関係機関との連携体制の強化
- ・ 防犯カメラの機能強化の検討
- お客様と連携した安全対策の充実

(6)異常時の対応強化

- 異常時の迅速な情報伝達の実施
- 災害・事故等事例の検証と対策

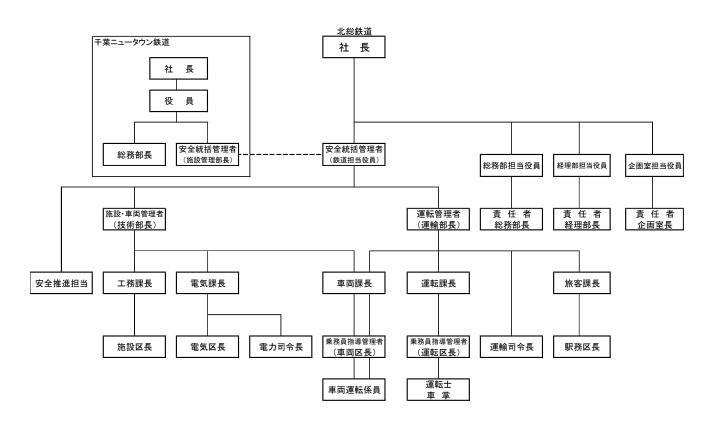
(7)新型コロナウイルス等感染症対策の徹底

4. 安全管理体制と安全管理方法

安全管理体制

北総鉄道並びに千葉ニュータウン鉄道の「安全管理規程」では、輸送の安全を確保するために遵守すべき事業の運営方針、事業の実施及び管理の体制、方法を定めることにより、安全管理体制を確立しております。

·安全管理体制図



・安全管理体制上の各管理者の役割

北総鉄道

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者(鉄道担当役員)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者(運輸部長)	安全統括管理者の指揮のもと、運転に関する事項を統括する
施設管理者·車両管理者 (技術部長)	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設及び車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者 (運転区長・車両区長)	運転管理者または車両管理者の指揮のもと、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する

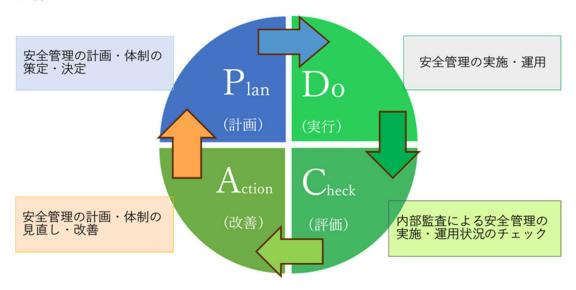
千葉ニュータウン鉄道

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者(施設管理部長)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
施設管理部長	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設に関する事項を統括する
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務等に関する事項を統括する

安全管理方法

安全管理体制に基づき、社長の意見をはじめとする鉄道の安全に関する情報の共有化を図り、本社と現場が一体となり、継続的な「PDCA サイクル」によって随時見直しを行っています。また毎年、安全管理体制上の各管理者に安全に関する内部監査を実施するとともに、安全に関する様々な対策等の討議を目的とした安全推進会議を実施するなどして、安全管理の強化に取り組んでいます。

・安全管理に係るPDCAサイクル



・安全に関する内部監査の実施

当社の安全管理体制が適切かつ有効に運用されているかを検証するため、社長・安全統括管理者をは じめとする、安全管理体制上の各管理者を対象に安全に関する内部監査を実施しています。

また、日本民営鉄道協会主催の「運輸安全マネジメント内部監査員研修」修了者を監査員としているほか、京成グループの鉄道各社が同席し、監査終了後に意見交換を行うなど、内部監査の質を向上させるとともに、継続した見直し・改善を図っています。



社長への内部監査



管理者への内部監査

·安全推進会議

安全推進会議とは、安全管理規程に基づき、事故やヒューマンエラーの撲滅や更なる輸送の安全性を向上することを目的に、安全統括管理者を議長に、運輸・技術部門の管理職を構成メンバーとして毎月開催しており、安全に関する様々な施策等(事故等の報告・分析及び再発防止策の討議・他社事故事例の情報共有等)について討議しています。



・ヒヤリ・ハット

当社では、日頃から社員・協力会社に対してヒヤリ・ハット情報の提供を呼びかけ、収集に努めています。収集したヒヤリ・ハット情報は、安全推進会議において毎月報告し情報共有を行うとともに有効な対策についても議論しています。また、収集したヒヤリ・ハットの全てを社内イントラに掲出する等して、誰でもいつでも見られるようにし、事故等の未然防止に役立てています。

【ハインリッヒの法則】

1 件の重大な事故・災害の背後には、29 件の軽微な事故・災害があり、 更にその背後には 300 件のヒヤリ・ハット(作業中等に「ヒヤリとしたこと」や「ハッとしたこと」を指し、事故に至る可能性のあった事象)があるという法則です。



・社長、安全統括管理者等の巡視

春の全国交通安全運動、夏季輸送安全総点検、秋の全国交通安全運動、年末年始輸送安全総点検等の期間に、社長や安全統括管理者を含む全役員が現業職場や作業現場の巡視を行い、現場の状況を把握するとともに、安全に関する取り組みの確認や、現業社員との対話等を通じて安全に関する意識の高揚を図っています。



社長巡視



安全統括管理者巡視

・コミュニケーションの強化と職場環境向上への取り組み

毎年、安全統括管理者と運輸部・技術部の現業長との意見交換会を実施し、また、運輸部・技術部では毎月、本課と現業長を交えた定例会議(部・課内会議)を開催し、現状における各現業での取り組みや課題などを話し合い、安全に関する共通認識を持ち、また、その内容について各職場に水平展開し、各職場のコミュニケーション強化と職場環境の向上に取り組んでいます。

社員の声



運転区 菅原運転士

私たち乗務員は、日々の列車の運行を、安全・快適に行う事を 使命に乗務しています。日頃から、意識を込めた基本動作の励行 や規程の遵守を徹底することに加え、異常時にも迅速に対応でき るよう、定例教育による習熟の他、乗務員間で情報共有を行い、 知識・技能の保有及び安全意識の向上に努めています。

お客様の安全を第一に、正確な運行の維持や、より快適なサービスの提供に努め、笑顔で安心できる鉄道を目指し従事してまいります。

5. 列車の安定輸送を実現するための取り組み

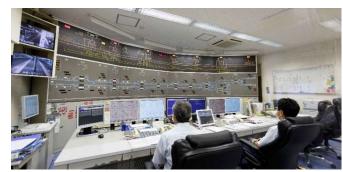
当社では列車の安定輸送を目的として、運輸指令所において一括して全列車の運行管理を 実施しています。また、鉄道施設及び車両について所定の機能を維持・発揮できるよう定期 的な点検及び検査を実施し、安全で快適な環境を提供するため日夜整備に努めています。

列車の運行時間中にはできない点検等については、深夜の時間に実施しているものもあり、 沿線住民の方のご理解、ご協力のもと実施しております。

列車の運行管理

・運輸指令所による運行管理

お客様に安心してご利用いただくため、全ての列車が安全、かつダイヤ通りに運行できるよう、システムによる自動制御と運輸司令の知見等により列車運行を集中管理しています。



運輸指令所

車両、施設の保守点検

・車両、工務、電気の保守点検【車両の保守点検】

車両の運行状況に応じ列車検査(10日を超えない期間で実施する検査)及び月検査(3カ月を超えない期間ごとに実施する検査)を行っています。



床下機器類の点検



パンタグラフの点検

【工務の保守点検】

線路やトンネル、駅などの鉄道構造物の保守、点検を行っています。



レールの測定



レールの交換作業

【電気の保守点検】

信号機などの保安設備、変電所等の電気設備の保守、点検を行っています。



信号機の点検



電車線の点検

·保守作業車



20 t 軌道モーターカー



25 t 積桁運搬車



マルチプルタイタンパー



ダンプトロリ

社員の声



施設区 後藤技術員

私たち施設区は、徒歩巡回による線路点検、軌道整備、レール 交換等の鉄道施設の保守管理を行っております。

また、安全についての取り組みとして毎点呼時には、月ごとに 決めた行動目標の確認及び指差喚呼、安全方針・安全に係る行動 規範・災害防止 10 訓の中から 1 項目の唱和を行い、安全意識 の向上を図るほか、週初めの点呼時にはヒヤリ・ハット事例(そ の週の作業内容等を踏まえて過去のヒヤリ・ハット情報)1 件を 読み上げ、作業前のKY活動で活かすことで、事故・災害防止に 取り組んでおります。

6. テロ・防犯対策の取り組み

鉄道におけるテロ等の犯罪未然防止策として、駅構内及び列車内の巡回警備を強化するとともに、防犯設備の充実を図っているほか、不審者や不審物の発見を行うためにお客様への協力要請放送やポスターを掲出しています。また、万一に備え、警察をはじめとした関係機関と連携強化を図っています。

テロ等防犯対策

・駅係員等による巡回

駅係員や警備員及び本社職員による警備腕章を着用した駅構内・列車内の巡回を行い、不審物(者)への警戒のため「見せる警備」を実施しています。

また、沿線警察署にも駅構内を含めた鉄道施設の警戒 強化を依頼しています。





警備腕章

・防犯カメラの設置

駅構内をはじめ、主要な施設に防犯カメラを設置し、テロや犯罪行為等の未然防止を図っています。







・車内防犯カメラの設置

車内における犯罪行為の未然防止のため、車内防犯カメラの設置を推進しています。









・お客様への不審物(者)発見に関する協力の呼びかけ

駅構内及び列車内における不審物(者)の早期発見のため、お客様への協力依頼の啓発放送や駅表示器・ポスターによる呼びかけを実施しているほか、駅構内等で従事している協力会社の方にもワッペンをつけて業務を行ってもらっています。また、車両の各乗降扉に不審物(者)発見時の鉄道係員への通報をお願いするステッカー(日本語・英語)を貼る等、鉄道テロ等の未然防止に取り組んでいます。



協力依頼ポスター



協力会社社員着用ワッペン

お願い 駅構内または車内等で不審物・ 不審者を発見した場合は、直ち にお近くの駅係員または乗務員 にお知らせください。 Please inform the station staff or train crew immediately if you notice any suspicious unclaimed objects or persons in the station or on the train. Thank you for your cooperation.

列車内のステッカー

警察との連携

・テロ等に関する対策訓練・講習

沿線の警察と合同で実際の駅で訓練等を実施し、緊急の場合でも円滑・迅速な連携対応を執れるようにしています。また、警察の方が講師となりテロ等の鉄道妨害行為の事例紹介及び対策等の講演会を実施し防犯に対する理解と意識の高揚を図っています。

また、鉄道施設内で傷害事件が発生した際には、駅係員・乗務員が安全にお客様を避難誘導できるよう 防護盾・防刃手袋を列車及び駅に配備しています。



警察との合同訓練



警察と合同での駅での講習



駅・列車配備の防護盾・防刃手袋

7. 安全確保に対する取り組み

安全・安定輸送を図るために安全重点施策等に基づき、優先度の高いものから順に設備改良を行っています。現在は、列車運行の安全性向上のため、列車無線のデジタル化、全線のC-ATS 化を行うための工事を実施しており、2022 年度は、列車無線のデジタル化工事が完了しました。また、お客様が安心して快適に鉄道をご利用していただけるための各種設備の整備や自然災害に備えた各種対策も進めております。

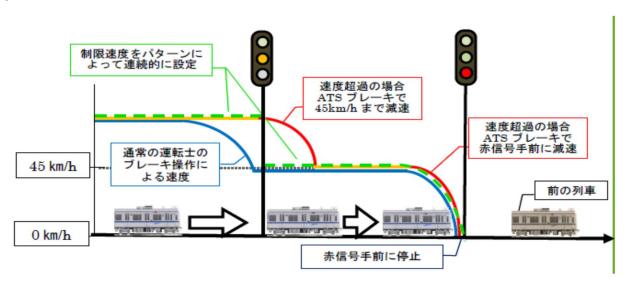
安全確保のための措置

・列車無線のデジタル化

列車運行の更なる安全性向上を目的として、2018 年度より実施していた列車無線装置のアナログ方式からデジタル方式へ変更するための改良工事が完了し、2022 年度に全編成で使用が開始されました。これにより、運輸司令と複数列車の乗務員が同時に通話することが可能となり、運行異常時等における情報収集や伝達の迅速化が図られます。また、列車の乗務員用モニターに運行に関する情報を文字で表示することで、より正確な情報提供を行うことが可能となります。

·C-ATS概要

現在、列車の保安設備として、北総線の各連動駅(ポイントのある駅)構内に、高機能ATS(C-ATS)を導入していますが、連動駅構内以外の駅間においても全線C-ATS化整備を進めています。これまでに京成高砂~新鎌ヶ谷駅間のC-ATS化が完了し、2022年度は新鎌ヶ谷~小室駅間の工事に着手しました。



・安全への投資

毎年度、下表の通り鉄道事業における安全対策に対して投資を行っています。

安全に対する設備投資金額

(単位:百万円)

	(+ m· H))))		
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
北総鉄道	989 (70%)	1, 076 (76%)	1, 069 (68%)
千葉ニュータウン鉄道	264 (79%)	477 (86%)	547 (89%)

[〕]内は全体の鉄道事業設備投資額に対する安全関連設備投資額の割合

駅の安全対策設備

·列車非常停止装置

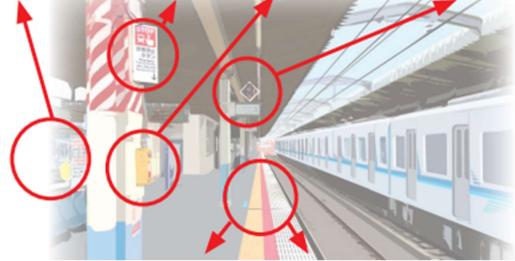
お客様が線路内に転落した時や線路内に障害物を発見した場合、ホーム上の「非常停止ボタン」を押すことにより、近くを走行中の列車の乗務員に異常を知らせ、列車を自動的に緊急停止させます。また、お客様に非常停止ボタンの設置箇所が一目でわかるよう、赤白ゼブラテープや看板を設置するとともに使用方法についてポスターを掲示しています。



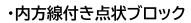












目の不自由なお客様がホームから転落するのを防止するため、全駅のホームに「内方線付き点状ブロック」を設置しています。 点状ブロックの内側に線状の突起がついていることで、ホームの内外が判別できるようになっています。



・CPライン

ホーム上の安全を確保するため、視覚的・心理 的にホーム端部の危険性を訴え、注意喚起を行い 電車との接触事故を防止することを目的として います。

·通過列車注意表示

駅ホームの狭小部床面に警戒ライン及び「列車に注 意!」を表示し、お客様への注意喚起を行っています。 また、必要な箇所に手すりを併設し、ホーム上のお客 様の安全性の向上を図っています。



・車掌用 ITV(車掌用監視モニター)

車掌が電車を出発させる際に、扉やホームの安全を確認するため、「車掌用ITV」を設置しています。





・ホームベンチの向きの変更

ホームのベンチを線路に対し、垂直に設置するこ とでホームからの転落事故防止に効果があることか ら、ベンチの向きを変更する取り組みを進めていま す。



・駅施設のバリアフリー化

ご高齢者やお身体の不自由なお客様が安全・快適に駅施設をご利用いただけるよう、車いす対応のエ レベーターや多機能トイレ等を全駅に設置しています。



エレベーター



多機能トイレ



車いす用スロープ

・目の不自由な方へのご案内

国土交通省の旅客施設における音声による移動支援方策ガイドラインに基づいて、お客様及び目の不自由なお客様を券売機、改札口、階段、エスカレーター、エレベーター、トイレ等へ音声で案内誘導するための音声誘導装置及び駅構内配置を示した触知図を全駅設置しています。



触知図案内板

·AED(自動体外式除細動器)

安全に安心してご利用いただける駅を目指し、各駅改札口付近にAEDを全駅に設置しています。なお、駅係員・乗務員においては応急手当や救命措置が適切に行えるよう普通救命講習等を受講しており、いざというときは速やかな対応が取れるようにしています。



車両の安全対策設備



1 非常通報器

列車内で非常事態が発生した場合等に備え、乗務員に通報することができる非常通報ボタンを各車両に設置しています。また、お客様に非常通報ボタンの設置場所をご案内するため、各車両に非常設備のご案内を掲示しています。



非常通報器



非常設備ご案内ステッカー

2 車いす、ベビーカースペースの設置

車いす、ベビーカーをご利用のお客様が混雑時 にも利用できる専用スペースを設置しています。



③ 車内案内表示装置



4 カ国語(日本語・英語・中国語・韓国語)による 行き先や停車駅案内のほか、安全啓発に関するお知らせや事故災害等異常時の際の状況に応じた情報提供を2カ国語(日本語・英語)で表示できる機能を搭載しています。

4 乗降扉の注意喚起シール

ドア開閉時のお客様の引込み・挟まりを防止するため、 各車両の全ての乗降扉の端部に扉を容易に認識できる注 意喚起テープを貼付しています。



6 車内点字案内表

目の不自由なお客様に対し、車内の乗車位置が確認できるよう、全車両の全ての扉に「乗車車両の位置」及び「ドアの位置」の点字表示を行っています。



·転落防止用幌

各車両連結部の隙間に、お客様が誤ってホームから線路上へ転落しないように、転落防止用幌を設置しています。



•運転士異常時列車停止装置

運転士の体調が急変した場合等に備え、ハンドルから手が離れると非常ブレーキが動作する 装置で、全ての運転席に設置しています。



·非常梯子

異常時に列車が駅間で停車した場合、お客様を安全に降車できるよう、列車内に非常梯子を積載しています。





・車内の 4 カ国語放送

車内における成田空港方面への乗換案内を I Cレコーダーにより 4 カ国語(日本語・英語・中国語・ 韓国語)で行っています。また、事故発生時等に対応した放送も可能で異常時にも訪日外国人のお客様へ スムーズな案内を行うことができます。

災害対策

·災害復旧工事

2021年8月15日に発生した道路法面崩壊に伴う輸送障害(災害支障)について

発生日時: 2021年8月15日(日)5:07頃

発生場所:小室駅~千葉ニュータウン中央駅間(上り線) 発生事象:線路内に道路法面の土砂・排水側溝が流入

概 況:前日からの大雨の影響により鉄道敷地外の道路 法面が土砂崩れを起こし、上り線内に土砂及び

排水側溝が流入。

長時間にわたり新鎌ヶ谷~印旛日本医大駅間の

運転を見合せました。

復旧工事: 道路管理者と協定を取り交わし、法面災害復旧 工事を行い 2022 年度末に完了しました。 今後も、同様の法面構造箇所で、かつ線路に 接近している箇所については、法面に雨水の

浸透を防ぐ工事を予定しております。





社内の対策: •技術係員による鉄道運行に影響を及ぼしそうな線路近傍施設に対する警戒注視

・輸送障害が発生した際に、早期の運転再開を図るため鉄道係員が執るべき行動 手順を記したマニュアルの作成とマニュアルに沿った対応訓練の実施

·耐震補強

首都圏直下地震等の大規模地震に備え、トンネルや高架 橋の柱の耐震補強や橋梁の落下防止等、構造物の耐震補強 を行い、より地震に強い鉄道施設になっています。



矢切駅 耐震補強された柱

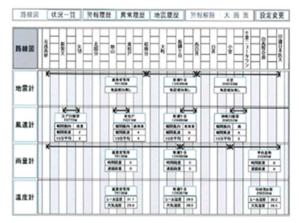
・早期地震警報システム

気象庁が発表する緊急地震速報を利用した早期地震警報システムを導入し、地震による被害の抑制を図っています。



・気象観測総合システム

運輸指令所に、気象観測総合システムを配備し、当社線に整備された気象観測装置(地震計3箇所、風速計4箇所、雨量計3箇所、レール温度計3箇所)から送信された観測データを監視しています。運転規制を伴う規制値を観測した場合、速やかに乗務員へ運転規制を指示し、異常気象時における列車運行の安全確保に努めています。



監視用 PC 画面







地震計

·緊急車両

異常時、速やかに点検・復旧を行うため、緊急自動車を2台保有しており、また、大規模災害等の発生時に通行禁止区間等の走行が可能になる「緊急通行車両」の届出も行っています。また、駅間で列車が停止した場合等に備え、「軌道自転車」を駅に配備し、係員が速やかに現場に駆け付けられる体制を整えています。



緊急自動車



軌道自転車

災害発生時の取り組み

·異常時対応訓練

北総線内で事故が発生した場合の早期復旧に向けた初動対応、及び関係機関との連携強化を目的に、 毎年、全社的に訓練を実施しています。

2022 年度は地下駅である矢切駅で、停車中の列車内で火災が発生したことを想定し、駅係員による初期消火、お客様の避難誘導等を行う訓練を実施しました。



異常時対応訓練

·防災訓練

毎年、震度5クラスの地震が発生したことを想定した発災対 応訓練を実施し、現場や関係機関との情報伝達が迅速かつ的確 に行われることを確認しています。



訓練時の対策本部

・地下駅の火災、停電対策

地下駅である矢切駅では火災・停電等の対策として、排煙設備、非常用発電機、屋内消火栓設備等を整備しています。ホームには避難経路図を設置し万一の事態に備えてお客様にお知らせしています。 また、駅係員による消防設備の取扱い訓練を毎年実施しています。



防災総合監視盤



非常用発電機



避難経路図



消防設備取扱い訓練

・お客様用備蓄品の配備

大規模災害時等で帰宅が困難なお客様のために、駅に備蓄品(飲料水、食料、アルミブランケット、簡易トイレ)を配備しています。



飲料水



食料



ブランケット



簡易トイレ

・緊急時支援活動用ワッペン

社員が通勤や私用で当社線を利用しているときに、事故や災害等に遭遇し、急遽現場で支援活動を行う際、北総鉄道の社員であることを判別できる目印とし、社員は常時このワッペンを携帯し、緊急時には胸元に貼り、支援活動を行います。



・運行状況の情報配信

運行情報は当社ホームページや運行情報ディスプレイ(全駅改札入り口付近に配置)、公式 Twitter 等を通じてお客様へ案内しています。また、「列車走行位置」の情報を WEB 上で行っています。



運行情報ディスプレイ



列車走行位置

安全に関する教育

・乗務員による教育・訓練

乗務員に対し、事故や車両故障等を想定した「乗務員集合教育」を机上及び実車を使用して実施し、異常時に速やかに対応ができるよう知識・技能の保有に努めています。



列車防護



非常梯子設置

・駅係員による教育・訓練

駅係員が各運動期間中に小研修を実施し、事故や異常時等における対応について、定期的に確認を行っています。



転てつ器(ポイント)手回し訓練



飛来物除去訓練

・技術係員による教育・訓練

技術係員は日頃より技術・技能の維持向上と異常時の迅速な対応を目的に各種訓練等を行っています。



保守作業車の脱線復旧訓練(施設区)



転てつ装置交換訓練(電気区)



脱線復旧訓練(車両区)

·北総鉄道工事安全推進協力会

夏季の輸送安全総点検及び年末年始輸送安全総点検に合わせ、 当社技術部全社員と協力会社社員を対象に「技術部安全衛生懇談 会」「北総鉄道工事安全推進協力会」を開催し、安全及び衛生に関 する事項について周知徹底並びに啓発を図るとともに、横断的に 情報交換を行い、安全確保に努めています。



・施工管理者資格の発行

一定以上の経験、知識・技能を有する協力会社の従事員に、施工管理責任者の資格発行を行い、所属社員と同等の軌道内作業、夜間作業時の施工管理を行ってもらっています。

施工管理責任者の有資格者に対しては、鉄道従事員教育を年 1 回、更に知識・技能の保持を確認するための資格更新の講習を3年ごとに実施しています。

・サービス介助士の資格所得

高齢のお客様やお体の不自由な方をはじめ、全てのお客様に安心してご利用いただけるよう、「サービス介助士」を駅係員に取得させています。2022年度末現在、全ての駅係員が取得しており、「サービス介助士」と明記した胸章を着用しています。



※『サービス介助士』とは、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する資格です。

・盲導犬ユーザー等対応講習

毎年、駅係員及び関係社員を対象に盲導犬ユーザーや視覚 障がい者の方を講師に迎え、お声掛けやご案内などの対応に ついて講習を実施しています。



乗務員の健康状態の確認

乗務前に写真記録付きアルコール検知器を使用し、酒気を帯びていないことを確認後、点呼執行者との対面点呼により健康状態の確認を行っています。また、SAS(睡眠時無呼吸症候群)スクリーニング検査を実施し、SASと疑われる場合には医師の診療を受けています。



写真記録付アルコール検知器による測定

事故等の発生状況

2022 年度においては、当社の有責事故及びインシデントは発生しておりません。 しかし、2020 年度に京成電鉄青砥駅構内で発生した、当社所属車両の列車脱線事故については 2022 年3月に運輸安全委員会より「鉄道事故調査報告書」が公表されました。 今後は再発防止策を徹底し、お客様に安心してご利用いただけるよう安全を最優先に取り組んでまいります。

京成電鉄青砥駅構内での当社所属車両の列車脱線事故について

発生日時: 2020年6月12日(金)10:16頃

発生場所:京成電鉄青砥駅構内(上り線)

編 成:北総鉄道所属車両 7800 形 8 両編成

概 況: 当該列車が青砥駅 1 番線進入時、前 6 両がホームに進入した時点で 7 両目

第2台車の脱線、及びパンタグラフが破損しました。

なお、当該車両に乗車していたお客様に負傷者はいませんでした。

原 因:【「鉄道事故調査報告書」からの抜粋】

前から7両目の台車の側ばりに亀裂が発生したことにより、当該台車の輪重 (各車輪にかかる車体荷重)のアンバランスが大きくなり、車輪がレールに 乗り上がったことによるものと考えられます。

再発防止策:

定期検査時の台車枠への磁粉探傷検査実施前に、本件亀裂発生箇所及び同様箇所に印をつけることで重点点検箇所を詳細に明示するとともに、更なる検査の精度向上のため、検査時に本件亀裂発生箇所と同一の側ばり下面の塗装除去を徹底します。また、検査員2名によるダブルチェックを行い、検査体制を強化します。

その他、月検査においては、側ばり下面を重点的に検査(汚れ等をふき取り後の目視点検と打音検査)し、列車検査についても目視点検の強化と打音検査を 実施します。



定期検査のダブルチェック(2名体制で実施)

8. ご利用のお客様へのお願い

電車を安全にご利用いただくために

1. 線路内に立ち入らないでください

線路内は大変危険です。絶対に立ち入らないでください。

2. かけ込み乗車はおやめください

かけ込み乗車は、列車遅れの原因となるだけでなく、思わぬケガや事故にもつながり、大変危険です。余裕をもったご乗車をお願いいたします。



3. ホームでは黄色い点状ブロックの内側をお歩きください

列車から降車されたお客様が、ホームを歩行中に転倒し発車直後の列車に接触する事故や線路 に転落する事故が発生しております。ホームでは列車から離れ、黄色い点状ブロックの内側を お歩きください。

4. 駅やホームでの「ながら歩き」はおやめください

歩行中にスマートフォン等を操作する「ながら歩き」は、お客様同士の接触やホームから線路 への転落のおそれがあり、大変危険ですのでおやめください。



5. 転倒、転落にご注意ください

ご高齢のお客様や酔ったお客様の階段やコンコース等での転倒並びにホームから線路への転落が発生しております。ホームから線路への転落を発見した場合は、直ちに、お近くの「非常停止ボタン」を押し、絶対に線路に降りないでください。

6. 戸袋に手を引き込まれないようにご注意ください

ドアが開く際は、お子様の手やカバン等が戸袋に引き込まれないようにご注意ください。

7. 持ち込みを禁止する危険物がございます

駅及び車内への危険物の持ち込みは法令等により禁止されています。お客様の安全のため、 手荷物の点検をお願いすることがございます。



8. 不審物を発見した場合はお手を触れずにお知らせください

駅構内や車内で不審物を発見された場合は、お手を触れずにお近くの駅係員・乗務員、または 警戒中の警備員にお知らせください。

9. エスカレーターご利用のお願い

エスカレーターをご利用になる際、転倒や他のお客様と衝突し転倒させるなどの事象が発生しています。エスカレーターでは立ち止まり、手すりにつかまりご利用ください。



10. お声かけサポートのお願い

お困りになられている方をお見かけになられた場合は、お声かけにご協力をお願いいたします。



安全報告書に関するお客様のご意見をお寄せください

ホームページ内の「ご意見フォーム」まで 【北総鉄道ホームページ】 http://www.hokuso-railway.co.jp



北総鉄道株式会社 Hokuso- Railway Co.,Ltd. 千葉ニュータウン鉄道株式会社

Chiba Newtown Railway Co.,Ltd.

編集·発行:北総鉄道株式会社 安全推進担当 2023年6月発行